

平成22年度 事業結果報告書

財団法人群馬県消防協会

1 会 議

(1) 理事会

第1回 平成22年5月18日(火)、前橋市内の上毛会館において開催し、原案どおり可決した。

議決事項

- 第1号 平成21年度事業結果報告について
- 第2号 平成21年度収支決算について
- 第3号 平成21年度資産の状況について
- 第4号 理事の推薦について
- 第5号 副会長の推薦について
- 第6号 監事の推薦について
- 第7号 評議員の承認について
- 第8号 新公益法人制度にかかる方針について

第2回 平成22年11月16日(火)、前橋市内の上毛会館において開催し、原案どおり可決した。

議決事項

- 第1号 殉職警察消防職団員霊祠の解体撤去及び慰霊碑の建立について

報告事項

- 第1号 公益財団法人への移行の検討状況について

(2) 評議員会

平成22年6月23日(水)、利根郡みなかみ町の「水上館」において開催し原案どおり可決した。

議決事項

- 第1号 平成21年度事業結果報告について
- 第2号 平成21年度収支決算について
- 第3号 平成21年度資産の状況について
- 第4号 理事の推薦について
- 第5号 副会長の推薦について
- 第6号 監事の推薦について
- 第7号 新公益法人制度にかかる方針について

報告事項

- 第1号 評議員の委嘱について

(3) 理事会評議員会

平成23年1月20日(木)、前橋市内の市町村会館において開催し、原案どおり可決した。

議決事項

第1号 評議員の承認について

第2号 殉職警察消防職団員霊祠の解体撤去及び慰霊碑の建立について

第3号 公益財団法人への移行に伴う理事、幹事及び評議員の構成について

第4号 公益財団法人への移行に伴う支部の取扱について

第5号 財団法人群馬県消防協会における最初の評議員の選任方法(案)について

第6号 賛助基金の活性化基金への組み替えについて

第7号 特定費用準備資金の設定について

第8号 平成22年度収支予算の補正について

第9号 平成23年度事業計画(案)について

第10号 平成23年度収支予算(案)について

(4) 担当者会議

平成22年4月28日(水)、22年10月13日(水)及び23年2月28日(月)、いずれも県庁内会議室において開催し、22年度における協会事業全般についての協議と意見交換を行った。また、公益財団法人への移行の後の支部の取扱等についても協議した。

2 表彰

消防業務に精励し、功労のあった者及び、団体について各種表彰を実施した。

(1) 功労章

消防機関の幹部であって、消防の施設装備等の改善に、また、消防業務に抜群の功労があった者 114名

(2) 永年勤続功労章

消防職団員で、永年勤続し勤務勉勵、平素よく率先垂範して消防業務に尽力し功労顕著な者 266名

(3) 精績章

消防団員で、10年以上勤続し、平素よく率先垂範して消防業務に精励した者 551名

(4) 精勤章

消防職団員で、一定期間以上勤続し、品行方正勤務勉勵の者

2,086名

(5) 三世代伝承等優良消防団員顕彰

三世代以上にわたり伝承的に消防団活動に従事し、伝統ある消防団の発展とその業務の円滑な推進に特に顕著な功績のあった者 10名

(6) 退職者表彰

消防職団員で、永年勤続して退職した者 437名

(7) 無火災表彰

無火災消防分団 4団

3 弔慰救済

在職中死亡した消防職団員の遺族に対し弔慰金を贈ったほか、消防活動中(公務)に傷病した者に見舞金を贈った。

弔慰金 9件、 見舞金 13件

4 改良研究

(1) 消防ポンプ操法大会

消防団員教育などのため、各支部で開催した消防ポンプ操法大会に対し経費の補助を行ったほか、平成22年8月21日(土)消防学校において県大会を実施した。また、平成22年11月12日(金)愛知県蒲郡市で開催された、第22回全国消防操法大会に出場した中之条町消防団に対し、激励金を贈った。

(2) 消防団員指導員研修

消防団副団長、分団長を対象に、幹部として必要な知識・技術の向上を図るため、平成22年10月1日(金)・2日(土)消防学校の協力を得て研修を実施した。なお、今回から土曜日に実施した。(研修生25名)

(3) 新入団員教育

新入消防団員に対し、消防団員の身分と処遇等について理解を早める一助として「守れわがまち」を配付した。

(4) その他

消防職員教育と技術の向上を目的に、平成22年6月24日(木)消防学校において、県消防長会が実施した消防救助技術指導会を共催した。

5 普及宣伝

(1) 機関誌の発行

「ぐんまの消防」第29号を、消防関係者の情報誌として、平成22年12月1日、16,000部発行し、全消防職団員等に配付した。

(2) 新聞への掲載

主に消防団関係者の活動や団員募集について広く県民に紹介し、地域住民に対して防火思想の普及・高揚を図るため、上毛新聞紙上でPRした。

(3) 防火宣伝

各消防団が実施する年末警戒に対して督励費を送り、その労をねぎらった。

6 慰霊祭

殉職消防職団員の御霊を慰めるため、警察関係と合同で、平成22年10月26日(火)霊祠前において、群馬県殉職警察消防職団員追悼慰霊祭を実施し、遺族代表、来賓、消防関係者等約300名が参列された。

7 消防団活性化

消防団活性化基金の運用益により次の事業を実施した。

(1) 優良事業所表彰

当該事業所に消防団員を雇用し、その活動に理解と協力のあった事業所について、県庁で開催した消防表彰式で表彰した。

(2) 消防団員配偶者表彰

消防団活動の重要性をよく認識し、永く団員の活動について理解と協力のあった配偶者について、県庁で開催した消防表彰式で表彰した。

(3) 支部実施消防団活性化事業の助成

各支部において実施した、消防団員確保対策事業、スポーツ大会事業、地域・家族ふれあい事業などに対して助成金を交付した。

(4) 全国女性消防団員活性化大会参加者助成

平成22年7月29日(木)奈良県で開催された、全国女性消防団員活性化奈良大会に参加した女性消防団員に対して助成した。

また、はじめて消防団長研修として多くの消防団長他が参加した。

(5) 群馬県消防表彰式の開催

消防機関の相互連携強化・相互協力体制の充実と、消防職団員の士気の高揚を図ることを目的に、例年県と共催により消防大会を実施しており、本年度も伊勢崎市文化会館において実施する予定であったが、直前の会場の都合(3月11日発生 of 東日本大震災の被災により使用不可)により、内容・規模を縮小し、県庁において受章代表者の出席をいただいて群馬県消防表彰式として実施した。

8 福利厚生

日本消防協会が行う、消防団員福祉共済制度、消防互助年金にかかる加入促進を図り、消防団員の福利厚生の上と充実に努めた。

また、女性消防隊員福祉共済制度についても加入の促進を図った。

9 その他

群馬県及び財団法人日本消防協会が行う消防防災関係事業に対して、積極的に協力した。